

これまでの取組や指標(目標)達成による効果を、金額(見込額、試算額)や伸び率等により、可能な限り数値化

■経済効果

工業出荷額
7.3%増加

【産業戦略指標】

平成26年(速報値)は6兆5,313億円で、計画策定時(H24)の6兆860億円から**7.3%の増加**と、国5.1%の増加を上回っている。

売上金額
267億円

医療関連産業クラスターの形成P
環境・エネルギー産業クラスターの形成P
水素利活用による産業振興と地域づくりP

やまぐち産業戦略研究開発等補助金を活用し、平成32年度までに、**事業化件数80件、売上金額約267億円、雇用人数約300人**が見込まれる。

※このほか、当該補助金以外を活用した事業化の案件あり

消費拡大
325億円

【産業戦略指標】

明治維新150年に向けた観光需要の拡大P

延べ宿泊者数500万人の達成にあわせ日帰り観光客の増加を含め推計し設定した旅行消費額の目標は4,367億円であり、計画策定時(H24:429万人)と比べ**325億円の消費拡大**が見込まれる。

※延べ宿泊者数500万人(推計を行う上で、この場合の実宿泊者数は400万人と推計)達成にあわせ、日帰り観光客の増加を含めた推計値

※「2008年旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究(観光庁)」の平均単価より2011年の単価を推計し、本計画期間中の単価として固定したもの

客船寄港
2億円

クルーズ船の誘致推進P

平成27年のクルーズ船寄港は**19回で、昨年比6割増**。また、寄港による**経済効果は約2億円**と試算される。

※平成27年は国内外から約7千名が来県。

※一人当たりの経済効果3万円で試算。(国土交通省資料)

※平成26年のクルーズ船寄港回数は12回。

■雇用維持・創出

有効求人倍率
0.22P上昇

【産業を支える人づくり戦略】

有効求人倍率は、計画策定時(H24)0.87と比べ、平成26年1.09と**0.22ポイント上昇**。

就職決定率
2.5%上昇

高度産業人材等の還流促進P

- ・大学生の就職決定率は、計画策定時(H24:89.8%)と比べ、平成26年92.3%と**2.5%上昇**。
- ・高校生の就職決定率は、計画策定時(H24:97.7%)と比べ、平成26年99.2%と**1.5%上昇**。

新規投資
9.1%増加

【産業戦略指標】
戦略的な企業立地等の推進P

平成25年から3か年の新規投資件数(企業誘致・規模拡大投資)は144件で、直近3年間(H22~24 132件)と比べ、**9.1%増加**。

産業活動の円滑化

コスト削減
年間1割

物流拠点港湾の機能強化P

国際バルク戦略港湾の整備により、石炭輸送コストは、平成28年度から年間約1割(23億円)の削減が見込まれる。

- ・ケーブサイズ級船舶の入港が可能となった場合は年間約3割(100億円)の削減見込み

鉄道車両
直送270両

物流拠点港湾の機能強化P

徳山下松港下松地区の岸壁改良により、英国に向けて、高速鉄道車両の直送が可能となった。平成28年度までに270両の出荷が見込まれる。

渋滞緩和
5箇所

物流等基盤の強化P

主要渋滞箇所のうち、期間中に目標とした5箇所全ての渋滞が緩和される見込み。

このうち、平成27年3月の下関北バイパスの開通によって、3箇所の渋滞が緩和されるとともに物流等の円滑が図られた。

- ・所要時間の短縮：最大約14分(下関駅～安岡公民館間)
[旧国道191号経由(延長9.0km)約29分 ⇒ 下関北バイパス経由(延長8.6km)約15分]

※国土交通省資料

出荷数量
52%増加

「やまぐちブランド」等の販路拡大P

山口県のおすすめ食材「ぶちうまファイブ」について、平成26年度の出荷数量は、平成24年度から平均で52%増加。

※ぶちうまファイブ

地酒(酒米)、ゆめほっぺ、長州黒かしわ、のどぐろ、特選乾椎茸

（参考）企業設備投資等の動き

■ 宇部興産株式会社

ナイロン原料のカプロラクタムのもとになるシクロヘキサノン（アノン）を生産する新プラントを宇部ケミカル工場に建設する。総事業費は約60億円で、2017年11月に完成予定。

■ 武田薬品工業株式会社

光工場においてインフルエンザワクチン、固形製剤を増産するため、約160億円の投資を行う。大阪工場の従業員の一部を同工場に移す予定。

■ 帝人株式会社（グループ企業を含む）

2015年10月、岩国事業所内に帝人ファーマ(株)「融合製剤棟」が完成、稼働を開始。帝人グループの持つ素材技術とヘルスケア技術の融合による新規医薬品の創出を目指す。投資額は約20億円。

■ テルモ山口株式会社

2016年1月にカテーテル関連製品を出荷するなど本格稼働した。2月下旬には、ワクチン用注射器を国内製薬企業向けに出荷する。今後も生産拡大に併せ、社員（現在275名）を順次増員していく予定。

■ 東ソー株式会社

南陽事業所に約60億円を投資し、ハイシリカゼオライト製造設備の能力を強化した。2014年11月に完成し、今回の増強により会社全体の生産能力は現在の1.5倍となった。

■ 株式会社トクヤマ

徳山製造所の生産設備・港湾インフラを強化するとともに、2016年春には本社機能の一部を周南市に移転。合弁会社山口リキッド水素(株)では、液化水素製造能力を現行の2倍に増強することを決定。

■ 日本ゼオン株式会社

徳山工場に、カーボンナノチューブの製造プラントが、2015年11月に完成し、年明けより量産を開始。研究員もつくばの量産実証プラントから同工場に移す予定。

■ 株式会社日立製作所

英国向け鉄道車両の大量供給に備え、2017年までに車両の月産能力を現行の1.5倍に引き上げる。2015年下期から笠戸事業所の生産設備や作業者を増強して供給体制を整える。